

刊夕日二十二月八

常磐毎日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
発行所 常磐毎日新聞社
印刷所 常磐毎日新聞社

獨逸から郷里へ

碧女出身 本多サノ

【三】

この石段の兩側テラツセの下の切り立つた丘腹には大王の設計になると云ふ温室がしつらへられてある。このテラツセを並木路の緑の間隙を通して噴水を前にして眺めた清麗な景色がサンスローを特徴づけてゐる。

テラツセの温室には葡萄、桃、オレンジ、無花果等が伸びてゐたテラツセを昇り切り離宮の前庭から府觀すると、公園一帯から森又森と續く此の邊の風光が一日の内に收められる、この前庭の一隅に大王の寵犬を葬つた墓所がある。

ノート

勸業債券の利札の支拂は五ヶ年以内と規定されてゐるその期間内に支拂を受けなければ無効になる

佛語「サンスロー」は無苦憂の意味で大王自ら設計せられ一七四五―四七年クノーベルトドルフをして作らした、ロココ式の平家建て一切女氣拔きの生活をせられ、夏期は殆どこゝに

過されたと云ふ。大王の各室は大部分當時のまゝに保存されて、圖書室には詩人ホメヤの自書及大王の自ら書かれたサンスローの設計圖等其のまゝ、残つてゐた。其の他十ヶの室は歴史的由緒と共に當時歐洲を風靡したロココ式美術の精華を集めたもので見る者をして驚かす。

離宮の後庭に半圓形の柱廊がある、これを前景にして緑の絨氈を敷いた様な、ながらかな草原の彼方に古城趾ルイネベルグを望んだ眺めは一幅の畫の様な、なごやかな歐洲風の景色を展じてゐた。

離宮の丘を後に下りて一軒のレストラントに入る、客は大抵綠蔭に思ひ／＼に席を占めて持參の辨當（黒パンに燻肉を挟んだもの）をひろげ、一杯のビールをお茶を注文して畫食をと、のいておる、我々の様に食事を注文する贅澤者は至つて稀れた。尤もビールは妙齡の婦人から脂肪のたまつた横綱の様なおばあさんまで手のついた大きなコップを舉げて、甘そうに飲んでおる、價はコーヒーや紅茶よりも安いしアルコール分も少いからお茶代りに飲むのであらう。横道にそれ

るが獨逸のビールは英國のウイスキー、佛國の葡萄酒と並んで獨特の味をもつてゐるのだが、その飲用振の盛んなことは日本では一寸想像が出来ない。

▽風車小屋
獨逸人の遊覽客と共に再び離宮の麓に引返すと傳説的に有名な風車小屋の前に着いた。小屋とは云ふものゝ城廓の様にながしりした

★0000000000★
○明日の献立○
◎0000000000◎

【朝】味噌汁：さしげ
小付 紅生姜さきみ
【晝】かに 玉子煎り煮
【晚】清汁：さす 三つ葉
むし南瓜 糸こんにやく
みそ煮 焼き豚

大きな石疊で巨大な風車を戴いて巨人の殘骸を忍ばせるものがある。その傳説とは、フリードリッヒ大王はサンスローを静寂安住の所として、すべての世俗的のわづらはしさから逃れ様としておられたのであるが丘の麓の風車の響が邪魔になつてたまなかつた、そこで風車小屋のおやぢを呼出し「お前の所の風車が氣にさわつて仕方がない、あの風車を買ひとつてやるが金はいくら欲しいか」とおほせになつた。

コロムビア 新製品 蓄音器
ポータブル 金貳十五圓
レコードは
コロムビア の平益踊り
ポリドール
其他新譜澤山あります
平町五丁目(電一九五番)
金光堂時計店

開院廣告

今般左記ノ場所へ齒科醫院開設シ去ル六月廿五日ヨリ齒科一般診療ノ需ニ應ズ
診療時間 午前八時ヨリ 午後九時マデ
場所 平町北白銀町機關庫裏

東條齒科醫院

日本大學 齒科醫學士 東條守義
一ヶ年卒業 花型構成ノ原則ヲ解放
初心者ヲ標準トシテ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム
科目 華道應用盛花、投入、生花、立華
教授場 性 源 寺 平町長橋町午前九時ヨリ正午マデ
時期 毎週金曜 平出張事務所 平町田町午後一時ヨリ夜間部アリ

講師 池坊華道會長 先崎翠峰先生
申込其他 御用ノ際ハ電話五二六番
（出張事務所 御利用下サイ）
（味岡子之松氏方）御利用下サイ
◎尙御希望ニ應ジ出張教授モ致シマス
主催 池坊華道會

株式賣買
合資 三共商事
大町 電話三〇番



再度有難う存じます
レストラント
平層館
電話 624

外科

X光線科
性病科
外科
科
意隨院入

平町田町
安齊外科醫院
電話四七五番

喜多流謠曲と仕舞の

お稽古を奨め致します
平町田町六九
喜多流 謠曲 舞白土會
電話二一七番

三井タクシー

電話六八五番

素晴しい乗心地の!!!
三十五年式流線型新車が
参りまして
是非御試乗御利用の程を御願申します

地下採掘の可否

野崎満藏君に與ふ

川崎 文治

野崎尊兄。

然るに君は、君の動議を町會が『感情と面目上反對した』ものであると、獨自の見解を下して居るが、以上述べた町會の空気を冷靜に考へる時、單なる感情や面目に依つて否決されたものでない事が明らかに解るであらう。従つて君が鬼の首でも取つた様に振りかざす『覺書』は、君の見解の裏書にはならないのである。

『覺書』は青沼町長及び吾々委員七名が、町會を通過した萩原議員の動議に基き、七月廿九日仙臺嶺山監督局に陳情に出頭の際差入れたものである。その全文は君の公開中に掲載されてあるから是れを省略するが、二項に分れた『覺書』の趣旨は、第二項に

磐城炭礦が現に出願中の石炭採掘願は平町に悪影響があるか無いかを調査する迄二ケ年間(試掘の有効期間)待つて貰ひ度、我々は其期間内に何れとも態度を決定する

次に第二項は、磐城炭礦が現在の『採掘願』を『試掘願』に轉願した場合監督官廳から平町に公益害の有るか無いかを諮問された時、『採掘願』と答申する

予は、後藤局長の此の問題に對する誠意の溢れて居る態度を目撃し、實に有難いと思つた。今度さへ、君に宛て此の公開状を認める予の願望には、局長の崇高な人格を思慕する氣持が一杯である。

野崎尊兄。『二ケ年後の平町として』の責任を負ふべき證書を監督官廳に差入れるといふ事は無責任も甚だしく處置町政を擧断するものと

と攻撃されても答辯の辭があるまい。と云ふが、覺書の何處に二年後の責任を負ふと、吾々が約束して居るか、採掘の拒否を二年間待つて貰ひ度といふのは、試掘願の有効期間を基礎としての事であつて、此の期間内に吾々の腹を極めるといふ事が勿論君のいふ『町政の擧断』ではない、監督官廳に對する吾々の誠意の披瀝である。(續く)

と攻撃されても答辯の辭があるまい。と云ふが、覺書の何處に二年後の責任を負ふと、吾々が約束して居るか、採掘の拒否を二年間待つて貰ひ度といふのは、試掘願の有効期間を基礎としての事であつて、此の期間内に吾々の腹を極めるといふ事が勿論君のいふ『町政の擧断』ではない、監督官廳に對する吾々の誠意の披瀝である。(續く)

提出案協議、講演等があり第二日は水産試験場講習所落成参列、議事、第三日は議事を終へ正午から日本食料會社小名濱工場大敷網等を視察する豫定であるが本縣の提出事項左の如くである

伊勢參宮に

教員の無賃乗車

當番植田校が文相に具申

植田小學校は過般來郡下校長會の決議により縣下教育總會へ建議せる「小學校教員の伊勢皇太神宮参拜乗車無賃の件」に付き當番校として具体案作成のため郡下小學校教員八百卅三名に對して調査した結果に依ると既に伊勢皇太神宮に参拜した者は五百廿名の多きにのぼり全員の六割強に當つて居るが右に付鈴木植田校長は語る

国立水産分場を

東北に設置要望

來月上旬小名濱に開かれる關東北水産大會

關東北六縣水産大會は九月二、三、四の三日間小名濱小學校講堂に開催農林省水産局長原辰雄、帝國水産會長子爵水野覺藏、大日本水産

提出案協議、講演等があり第二日は水産試験場講習所落成参列、議事、第三日は議事を終へ正午から日本食料會社小名濱工場大敷網等を視察する豫定であるが本縣の提出事項左の如くである

町營海濱地を設く

四倉海岸二千八百坪埋立

四倉町は目下工事中の漁港改修工事から出る土砂を以つて海岸二千七百七十九坪を埋立て町營海濱地を設ける爲め工費一萬二千八百圓の借入方を豫てより大藏省に申請中であつたが昨廿一日付で正式許可の指令に接した

勳章拜受

郡内に二名

過般陸軍省より發表になつた滿洲事變出征勇士中本郡の勳章拜受者左の通り

草野 一五 一一、〇八
選舉對策に
清田檢事出福
平檢事局清田上席檢事は廿二日選舉對策打合のため福島控訴院へ出張した

シネマ週報

世界館 若水絹子 徳大寺伸共演「水上心中」高田浩吉 花岡菊子「辻斬ざんげ」櫻井勇主演「仙太の仁義」松竹ニューズ「強震静岡の實況」十錢
平 館 大河内備次郎主演「水戸黄門大會」十錢
平町 人事
平町 回出生
△新川町 樋口小彌太氏二男英政

吉田眼科病院

正紺屋町電話六八番
醫學士 吉田久雄

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

婦人科
花柳病科
入院隨意

怪死体

左腕に入墨

首に帯を巻付け 江名漁港に浮む

江名漁港東側築港内に去る十八日午後一時頃首に帯を巻き付けた四十才前後の漁夫怪死体が発見他殺騒ぎとなりを見物人が黒山に押寄せたが急報に接した小名濱駐在菊地警部補が出張検視の結果他殺らしい外傷がなく多分縊首を圖つて果さず海中に飛込自殺するに至つたものらしく身元が判明せぬので屍体を町役場に引渡した

リヤカが 刎飛され 瀕死の重傷

錦村宇安良町昭和和入組會社警工飛田松壽の長女壽子(二)さんは夏休みを利用して茨城縣茨城郡稻荷村の親戚飛田申之助方に滞在して居たが昨廿一日午前九時頃申之助長男時雄(八)外五名とリヤカに乗つて磯濱町の海水浴場へ向ふ際同町高橋運送店のトラックに刎ね飛され頭部脚等に瀕死の重傷を負つた

兄弟二人を 斧で一撃!

追ひはぎの嫌疑に 口惜しさの餘り

豊間の及傷事件

豊間村大字豊間字相磯居住土工千葉助吉(四)は同僚松井某と共に昨廿一日午後九時頃同村字柳町二八漁夫萩澤倉吉方に押掛け同人の弟平次郎

(三)を暗がりに呼出し突然持參の斧で頭部に一撃を加へその悲鳴に驚いて飛出した兄倉吉(三)の右大腿部に重傷を負はせて逃走同夜十時自宅に潜伏中を駐在所員に逮捕され目下平署で取調中である原因は被害者の平次郎が数日前の夜十一時

頃江名町からの歸途豊間地内縣道を通行中土工風の大雨に襲はれ所持金を強奪されんとしたので青くなつて逃げ歸つたが翌日加害者助吉の所爲らしいと云つて居た旨を助吉が聞き「俺が何時追はぎを働いた」と憤慨の餘り此の兇行に及んだものである

低鐵棒の 講習開始

參會二百名

體協石城支部主催の低鐵棒運動講習會第一日は平第一小學校講堂で諸橋縣學務部長臨席の許に廿二日午前九時より開會、千葉副會長の開辭、國歌合唱、篠山會長の挨拶あり千田體育運動

書道精進の 盛んなのに驚く

審査員松本氏の感想談

全國書道展審査員として來平滞在中の書海社主幹松本芳翠師は大會終了後平町有志より依頼の約二百名の書を揮毫中であつたが廿一日全部依頼を果し湯本温泉に一泊の上廿二日午後一時二十分歸京した、同氏は車中で語る

「今回の展覽會並びに講習會は貴町初めての試みであるだけどうかと懸念したが豫想以上の盛況で内容に於ては東京一流の泰東書院、東方書道會の展覽會に劣らぬ諸大家の大作力作までを取揃へ審査には随分苦心しました、尚講習會への出席豫想は精々百名位に考へて参りましたが連日あの廣い講堂一杯の會員にこの地方の書道精進の士の多いに驚ろき且嬉しく思つた次第です」

明日のラマオ

今晩も明日も南西の風天氣好し

明日の部

後七、三〇 趣味講演「能面の表情について」金剛殿
後八、〇〇 河東節「秋の

青年体育大會が 優賞旗新調

機關士の役員 小名濱漁船機關士會は来る廿五日午後一時から田町福田屋旅館に於いて總會を開き役員改選を行ふと

那聯合青年團體大會は既報の如く來月八日警中グラウンドに舉行される爲め目下各青年團必勝を期して猛練習中であるが同大會の優勝旗は昨年で三年連勝の内郷村青年團の永久獲得するところとなつた爲め昨廿一日郡山市の「うすの」へ注文した新調旗の燦然たる優勝旗は選手達の闘志を喚び止まぬものがあらう

小名鮮魚總會 小名濱鮮魚商組合總會は廿五日午前十時から錦盛館に開かれ役員改選後小名濱魚市場配當金の分配法に就いて協議すると

小名濱鮮魚商組合總會は廿五日午前十時から錦盛館に開かれ役員改選後小名濱魚市場配當金の分配法に就いて協議すると

菜種の搾油工場 今月下旬に落成

合創立十週年記念日當日に地方名士百餘名を招待盛大に舉行すると

既報石城販賣利用組合は工費八千餘圓で四倉驛前に新築した菜種搾油工場の新式搾油機据付工事を来る卅日頃迄に完成して試運轉を行ふ豫定であるが同組合では工場落成式を十月上旬の組

娘歳の家出女房

伊達郡保原町生れ熊塚フヨ(三七)は二三年前より東京市

旗「西田長祐(後六、〇〇)子供の時間(第六回)山の便り水の間(富士山麓御殿淺間神社境内より中繼)」
後六、二五 夏期特別講座「全國神社巡り(十四)」
後七、三〇 講演「支那警備と帝國海軍」軍令部第六課長海軍大佐本田忠雄
後八、〇〇 労働民謡「農村報告」外水谷中央 加藤貞子
後八、一五 長唄時雨西行「吉住小三藏」
後八、四〇 小唄 藤村孝
後八、五五 連續ラヂオドラマ「三己ヶ罪」河合武雄他

平職業紹介所報告
回 人を求める方
△粕べ夫 二十前後 委細
面談
△子守 十六迄 尋卒 給
料面談
△漁業雑役 二十前後 月十四—十五圓

木村外科醫院

平町六丁目橋際 電話三〇九番
△女中 四十以下 尋卒 月五—六圓
回 職を求むる方
△自動車助手 十八才 尋卒
△料理人 三十二才 尋卒
△店員 四十才 高卒
△材木店番頭 四十才高卒



明治太平記

(無断転載禁止)
上巻及下巻

(作) 寺島在史
(監) 野口雨江

第二百六回

異人馬車 (五)

「このパークスを、この場で殺すのは、わけないけど、いま殺したなら、日本はイギリスに無理難題を吹きかけられ、戦争になるんだよ。」

と、無言のうちに、それを告げようとしたが、相手の金五郎には、それが通じない。

「はやく、殺つてろ！ はやく！」

と、いつてゐる。金五郎の鋭い眼だ。

「ね、だんなさま」
おふくの良順は、もうめちやくちやだつた。

「なんですか？」

「はやく、日本を、イギリスの属國にしてくださいまし、おねがひですから……」

「ほう……」

パークスは、むしろ呆れたといった顔をした。

「あたしも、はやく、イギリスの女にならうござんすわ……」

「ホ、それは、まことに、よい心がけです、ひとりでも多くさういふ殊勝な人ができることを、わたしは、期待して居りました。あり

「何いつてやがるんだ……とおふくは、こころのうちに呟いたが、表面、あくまでそれをねがつてゐるやうに、……そのまに何とかして、殺るか、やらぬかの

常のくるしみを、くるしみがいた。
「だんなさま……」
も一度、振かへると、金五郎は、いまは勘忍ならぬといった面持で、ふたたびふところの兇器の鞘を拂はうとしてゐる。

「なんですか、おふくしやん」
パークスの聲は、あまりに朗かだ。それが、恨めしい。

「あのう……」
人斬り良順の本性を、いまこそ、おもてにあらはさ



決心がしたいとおもつた。しかし、もう、濱松町約束の時間が切れる。

「パークスを、殺つて、

日本とイギリスと戦争させるか……それとも……」

一介の、泥棒上りだが、おふくの良順は、いま、是非

「あのう……だんなさま」
あなたの生命を、貫ひましたよ……と、いふべきところを、

「だ、だんなさま、お馬車の、うしろに、怪しいひと

が……」

「おう」
パークスは、振かへつた。そして、背後に迫る黄

ろい顔をして、兇器を持つた日本人をあたかも、南阿

の土人でもあるかのやうにその胸に、無造作にピストルを放つた。

「おう」
おふくの良順は、一發の

銃聲に、愕然として顔をあげたが、背後の、大島小僧の、無惨な姿をみる事ができず、そのまゝまた、パークスの膝に、つつ伏してしまつた。

「大丈夫、おふくしやん。

野蠻人は、胸を打ちぬかれて、あのとほり……」

パークスは、顔色一つかへず、朗かにいつた。

「……」
おふくは血の出るほど、唇を噛んだ。

磐城名産

美味貝焼
鯉しほから
新鯉節大賣出し



最優最良 本盛 代理店 日賀 平
店理代命生本日大最優最良
榮 (三一二電) 日丁四平

藤沼醫院
平町・紺屋町
電話五〇七番

久全屋商店

- 磐城セメント會社特約店
- 磐城平町五丁目 電話九番九九
- 良品廉賣に勝る商略なし
- 確實敏捷は久の生命なり

増車御披露

陸の王者として定評ある流線型ダツチブラザース二輛増車致しました。タクシーの御使用の際は新車揃の尼子タクシーに御用命を御待致して居ります。大型貸切専門車も御座います。

尼子タクシー

電話六四〇

高久醫院

- 院長 醫學士 高久 忠
- 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
- 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
- 平町田町 電話五一三番
- 内科小兒科
- 耳鼻咽喉科
- 外科花柳病科
- レントゲン科

産人科 院長 木村寅次郎

外科 醫學博士 内木 宗八
藥局 藥劑師 立 番 彌 一

平町新川町十九

木村病院

病室完備 入院隨意 電話一六四番